

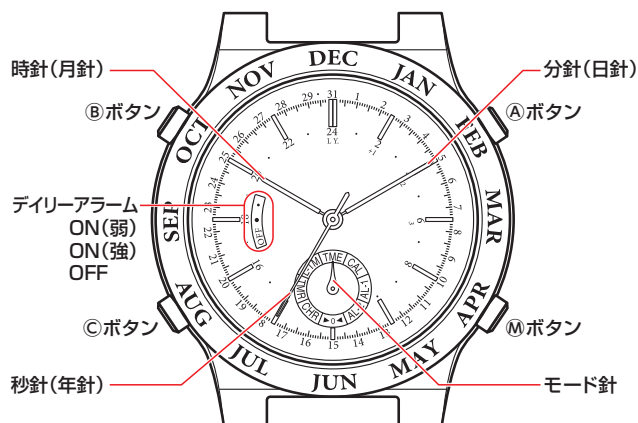
683* 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



683*取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

時刻を合わせる

- ④ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする
- ④ボタンを引く
修正時は、24時間制に切り替わります。(24時間で1周)
- 時報に合わせて①ボタンを押す
秒針が0位置に移動します。
・秒針位置が30～59秒の場合、1分進みます。
- ③ボタンを押して、分を合わせる
- ②ボタンを押して、時を合わせる
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
- ④ボタンを押し込んで、終了する

カレンダーを合わせる

- ④ボタンをくり返し押して、モードを[CAL]にする
- ④ボタンを引く
- ②ボタンを押して、月針(時針)を合わせる
1時～12時がそれぞれ1月～12月に対応しています。
- ③ボタンを押して、日針(分針)を合わせる
文字板外周の日付目盛りに合わせます。
- ①ボタンを押して、年針(秒針)を合わせる
うるう年からの経過年に合わせます。

うるう年からの経過年	セット位置
うるう年	12時
1年目	1時
2年目	2時
3年目	3時

・うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

- ④ボタンを押し込む
- ④ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする

モニター機能

TMEモードの時に、①ボタンを押すとカレンダー、②ボタンを押すとデイリーアラームのセット時間を確認することができます(10秒間表示後、自動復帰します)。

ローカルタイムを合わせる

現在時刻とは別に、他の地域の時刻(ローカルタイム)を設定することができます。

- ④ボタンをくり返し押して、モードを[L-TM]にする
- ④ボタンを引く
- ②ボタンを押して、時を合わせる
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
修正時は、時針は24時間制に切り替わります。(24時間で1周)
- ③ボタンを押して、分を合わせる
・分の修正は30分単位です。
- ④ボタンを押し込む
- ④ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする

アラームを使う

クイックセットアラーム(AL-1)とデイリーアラーム(AL-2)の2種類のアラームがあります。

クイックセットアラーム(AL-1)を使う

- アラームセット時刻にアラームが10秒間鳴り、鳴り終わるとセットしたアラームは自動的に解除されます。
- ④ボタンをくり返し押して、モードを[AL-1]にする
時針が動き、24時間表示に切り替わります。(24時間で1周)
 - ②ボタンを押して、アラーム時刻の時を合わせる
 - ③ボタンを押して、アラーム時刻の分を合わせる
アラームがONになり、秒針が0秒位置で停止します。
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
・アラームをOFFにするには、①ボタンを押します。秒針が現在時刻(秒)表示となります。
・再度①ボタンを押すと、アラーム音の確認ができます。
 - ④ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする

次へ続く

デイリーアラーム(AL-2)を使う

アラームを一度セットすると、毎日同じ時刻に15秒間鳴ります。
アラーム音は、強、弱から選択できます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[AL-2]にする
時針と分針が12時位置に移動します。
・ **A** ボタンを押すと、アラーム音の確認ができます。
2. **M** ボタンを引く
アラームがON(強)になります。
・ **A** ボタンを押すと、アラーム弱に設定されます。
・ 再度 **A** ボタンを押すと、OFFになります。
A ボタンを押すごとに、強→弱→OFFの間で切り替わります。
3. **B** ボタンを押して、アラーム時刻の時を合わせる
修正時は、時針は24時間制に切り替わります。(24時間で1周)
4. **C** ボタンを押して、アラーム時刻の分を合わせる
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
5. **M** ボタンを押し込む
6. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする

ストップウォッチを使う

1秒単位、最大24時間まで計測できます。(60分までは、0.2秒単位で計測できます。)

60分まで:

(秒針) 0秒で停止
(分針) クロノ・秒(0.2秒単位)
(時針) クロノ・分 を表示します

60分以降:

(秒針) クロノ・秒
(分針) クロノ・分
(時針) クロノ・時(24H制) を表示します

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[CHR]にする
時針、分針、秒針が12時位置に移動します。
スタート / ストップ: **A** ボタンを押します。
・ 計測中に **C** ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示されます。
リセット: ストップ中に、**C** ボタンを押します。

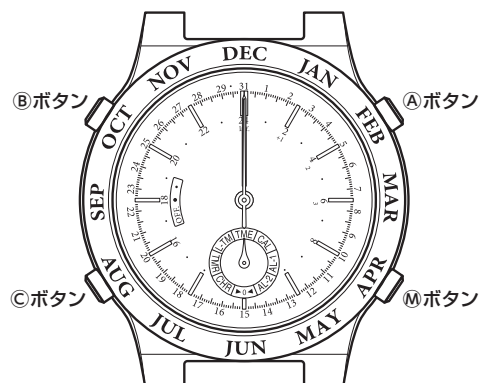
タイマーを使う

最大24時間まで、1分刻みでタイマーを設定することができます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[TMR]にする
2. **M** ボタンを引く
3. **B** ボタンを押して、タイマーの時を合わせる
時針は24時間制に切り替わります。(24時間で1周)
4. **C** ボタンを押して、タイマーの分を合わせる
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
5. **M** ボタンを押し込む
6. **A** ボタンを押す
タイマーのカウントダウンが始まります。
スタート / ストップ: **A** ボタンを押します。
・ タイマー作動中に **C** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。
リセット: ストップ中に、**C** ボタンを押します。

基準位置を確認する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[▶0◀]にする
時針、分針、秒針が動き、現在の基準位置が表示されます。
正しい基準位置:
すべての針が12時位置
現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



2. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にして終了する

基準位置を修正する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[▶0◀]にする
2. **M** ボタンを引く
3. **A** ボタンを押して、秒針を0秒にする
4. **B** ボタンを押して、時針を0時にする
5. **C** ボタンを押して、分針を0分(真上)にする
6. **M** ボタンを押し込んで、終了する
・ 終了後は、時刻・カレンダーを合わせ直してください。

オールリセットを行う

オールリセットはどのモードからでも行うことができます。

1. **M** ボタンを引く
2. **A**、**B**、**C** ボタンを同時に2秒間以上押し続ける
確認音が鳴り、時針、分針、秒針がかすかに運針して、オールリセットが完了します。
3. **M** ボタンを押し込んで、終了する

オールリセットのあとは

基準位置合わせ、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。